

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	124140	振興センター等整備事業(とりまとめ)	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	振興センターの利便性、安全性の向上					
対象	振興センター及びその周辺施設					
意図	地域づくり・生涯学習の拠点施設である振興センターの利便性及び安全性を確保する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○宮野目振興センター、笹間振興センターの屋根修繕 ○成島振興センター整備 煙感知器増設 ○谷内振興センター整備 外構工事、水タンク・機械室解体委託、備品購入 ○浮田振興センター 避難器具購入 ○田瀬振興センター整備 屋根・給水管漏水修繕 ○東和保健センター整備 屋根修繕、空調設備改修工事実施設計及び改修工事						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	新規整備センター	箇所	計画	1	1	
			実績	1	0	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	振興センター利用件数	件	目標	14,800	14,800	
			実績	15,506	14,195	
②	振興センター利用人数	人	目標	300,000	300,000	
			実績	276,616	258,771	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
安全に継続して施設を使用するため、建物及び設備の改修を実施した。また、安全性が確保されない施設(東和コミュニティセンター)については使用を停止した。 利用件数・人数とも、前年度実績を下回った要因は、東和コミュニティセンターの使用停止に伴い土沢振興センター分が皆減となっているためである。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が設置する施設であり、良好な状態で使用していくための整備を市が行う必要がある。
	○ 妥当である	
見直し余地がある		
○ 妥当でない		
有効性	成果の向上余地	設計や整備方法については、地域や利用者の意見を聞き、利用しやすい施設とすることで、施設の利用率の向上を図る。また、指定管理者であるコミュニティ会議による利用率向上のための実施を誘導する。
	○ 向上余地がある	
向上余地がない		
効率性	事業費・人件費の削減余地	施設の経年劣化に伴い、整備を必要とする施設は年々増加しており、より緊急性の高いものから整備をしており、事業費削減の余地はない。また、人件費についても最小限の業務時間であり削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	施設の老朽度危険度を総合的に判断し、市全体で整備が必要な施設を判断し、公平性を確保するとともに、施設の使用料については無料を基本とし、営利目的等の場合には、統一的な基準で使用料を徴収する。
	受益機会の見直し余地がある	
費用負担の見直し余地がある		
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
振興センターの整備等を行い、地域住民の活動拠点施設の利便性・安全性の向上を図ることができた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1	事業名
一般	02	01	06	124140	振興センター等整備事業(とりまとめ)

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		291,242	60,316		△ 230,926
財 源 内 訳	国・県	9,207			△ 9,207
	地方債	206,400	41,600		△ 164,800
	その他				
	一般財源	75,635	18,716		△ 56,919

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

地域づくりへの参加促進

事業開始の背景・経緯

市内27箇所に振興センターを設置しているが、公民館や地域の集会施設、小学校などとして使用していた建物であり、建築後の年数もかなり経過していることから、長寿命化を図るために所要の整備（修繕等）を行っていく必要がある。

事業概要

- 宮野目振興センター、笹間振興センターの屋根修繕
- 成島振興センター整備
煙感知器増設
- 谷内振興センター整備
外構工事、水タンク・機械室解体委託、備品購入
- 浮田振興センター
避難器具購入
- 田瀬振興センター整備
屋根・給水管漏水修繕
- 東和保健センター整備
屋根修繕、空調設備改修工事実施設計及び改修工事

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

振興センターの整備計画を作成し、順次進めていくことを基本とするが、緊急性のあるものや法令に基づくものを優先して対応する。

担当部署 部名 地域振興部 課名 地域づくり課 担当係長 佐々木 学 内線 454

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○ 宮野目振興センター、笹間振興センター屋根修繕 (4,720千円)

- (1) 宮野目振興センター 屋根修繕 3,996千円
- (2) 笹間振興センター 屋根修繕 724千円

○ 東和地区振興センター整備 (55,596千円)

- (1) 成島振興センター 416千円(煙感知器増設)
- (2) 谷内振興センター 19,826千円(外構工事、水タンク・機械室解体、備品購入)
- (3) 浮田振興センター 129千円(避難器具購入)
- (4) 田瀬振興センター 6,048千円(屋根・給水管漏水修繕)
- (5) 東和保健センター 29,177千円(屋根修繕、空調設備改修工事実施設計及び改修工事)